

年間指導計画表

教科・科目	国語・現代文B	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科・第2学年共通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。
使用教科書・副教材等	高等学校現代文B(三省堂) 「入試頻出漢字データベース漢字マイスター頻出漢字熟語3000」(第一学習社)「評論・小説を読むための新現代文単語」(いしずな書店)「論理的に読む 論読現代文2」(浜島書店)「現代文長文記述問題集2読解力養成編」(いしずな書店)「進研WINSTEP現代文2改訂版」(株式会社ラーンス)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出	25%
b. 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	50%
c. 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	
d. 読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	
e. 知識・理解	言語文化及び言語の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					a	b	c	d	e
前期	4	4	「文系と理系の壁はあるか」(最相葉月)	筆者が提示する、一般的な問いについて吟味し、その問題点を改めて深く考え、新たな視座を得る。					
	5	7	『山月記』(中島敦)	・文語体の表現を味わい、書かれた内容を正確に読み取ることで、時代や人間のあり方について理解を深める。					
	6	4	『『市民』のイメージ』(日野啓三)	・筆者の問題提起はどこにあるのか、何を問題としているのかを捉え、「市民」とはどのような者のことを指すのかという筆者の主張を理解する。	○	○	○	○	○
	6	3	「ミロのヴィーナス」(清岡卓行)	・筆者の逆説的な主張を捉えるとともに、比喩や抽象的語句を用いた巧みな表現を理解する。					
		1	第1回考査						
	7	4	「パンの話」(吉原幸子) 「永訣の朝」(宮沢賢治) 短歌十六首・俳句十六句 〔抜粋〕	・内容、構成、表現、主題、動機について理解し、根拠ある鑑賞のしかたを身につけ、個性豊かな表現を味わう。					
8・9	5	「戦争の〈不可能性〉」(西谷修)	・長文を速読することに慣れるとともに、論理展開を丁寧に追って、筆者の提示する新たな視点について考える。	○	○	○	○	○	
	9	6	『檸檬』(梶井基次郎)	・場面の叙述や情景描写と「私」の状況や立場との関係を的確に把握し、「私」の心理の推移について、作品の展開に即して読み取る。					
	1	第2回考査							
後期	10	6	「人類による環境への影響」(鷲谷いずみ)	・本文に即して客観的根拠に基づく筆者の考えを読み取り、筆者の考えをもとに、自分の意見をまとめる。					
	11	5	「ひよこの眼」(山田詠美)	・随所に登場する独特の心情表現を、状況に即して理解し、構成の妙を味わう。	○	○	○	○	○
		5	「忘れられる権利」(宮下紘)	・最先端の概念である「忘れられる権利」を丁寧に吟味しながら、論の展開をしっかりとつかみ、評論の組み立て方を学ぶ。					
	12	1	第3回考査						
	12	9	「こころ」(夏目漱石)	・登場人物相互の関わりから生ずる心の動きを捉え、人間の心の奥深さを味わい、自己の内面を見つめる姿勢を身につける。					
	1	8	「南の貧困/北の貧困」(見田宗介)	・今日的な視点で「貧困」の問題を眺め、南北問題を踏まえた上で、それぞれの立場の根本的な問題点を理解する。	○	○	○	○	○
2	3	「陰翳礼讃」(谷崎潤一郎)	・筆者の挙げる具体例に沿って、筆者独特の美意識をとらえ、今日の日本の美について改めて考え表現する。						
3	1	第4回考査							